

アドバイザー

しまなみ地域ケア実験室



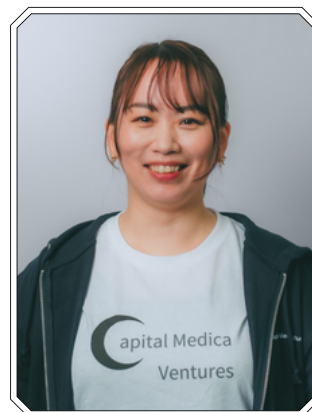
青木 武士 株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ代表取締役

造船会社でバイオマス発電事業等に携わった後、ソフトウェア開発会社を経て、（株）エス・エム・エスにて事業開発に携わり、M&Aやインキュベーションプログラムの運営を行う。また、訪問看護ステーションの設立・運営など医療・介護現場のオペレーション経験も有する。ヘルスケア領域に注力したVCファンドを運営する株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズを立ち上げ、現在はその代表としてインパクト投資を実践している。

後町 陽子 株式会社キャピタルメディカ・ベンチャーズ ディレクター

薬剤師／経営学修士

薬学部卒業後、JICA青年海外協力隊でガーナ国にて国際保健活動に従事。帰国後、病院・薬局にて臨床経験を積んだ後、病院経営コンサルタントとして、オペレーション改革・組織改革、人材マネジメント支援、ヘルスケアスタートアップの育成プログラム運営等を担当。外資系コンサルティングファームにて製薬企業向け戦略コンサルティングおよびDX支援を経験後、現職にて投資・投資先支援等を担当。



宮地 紘樹 医療法人社団綾和会 掛川東病院 院長

京都生まれ名古屋育ち。大学ではラグビー部と居酒屋でほとんどの時間を過ごし、休みにはバックパックで海外へ。無事医者になり外科を10年経験した後に訪問診療医に。現在は静岡県掛川市のリハビリ病院の院長として地域医療に従事している。通常の医療にとどまらず多職種連携・まちづくりの一環として、地元企業や行政と協働したクラフトビールづくりや美尻プロジェクトなど市民を巻き込んだ活動を行う。また今後高齢化を迎えるアジア諸国にも繰り出し、海外との医療共創にも楽しみながら関わりを持つ。

アドバイザー

しまなみ地域ケア実験室



糟谷 明範 株式会社シンクハピネス 代表取締役

1982年生まれ、東京都府中市出身。2006年に理学療法士免許取得後、総合病院や訪問看護ステーションでの勤務を経て、2014年に株式会社シンクハピネスを創業。東京都府中市を拠点に「“いま”のしあわせをつくる」をミッションに、医療・福祉事業とコミュニティ事業を展開している。

内海 慎一 LifeWork／コミュニティデザイナー

1983年愛知県生まれ。大学時代に坂茂氏のもとで建築を学んだ後、広告代理店を経て、地域の人たちと一緒に有形・無形の未来をデザインしていく「コミュニティデザイン」の分野に飛び込む。まちづくりのワークショップ、住民参加型の建築づくりなどに関するプロジェクトが多い。近年では、介護・福祉施設のプロジェクトに様々な形で参画。主な仕事に、土岐くらしのラボ（岐阜県土岐市）、SOUPタウンプロジェクト（愛知県豊田市）、鞆の浦・お宿と集いの場 燧冶（広島県福山市）、尾道のおばあちゃんとわたくしホテル（広島県尾道市）など。



山本 尊也 タテヨコデザイン 官民連携コーディネーター

広島県福山市出身。同志社大学心理学科を卒業後、福山市役所に入庁。官民連携による地方創生に携わる。現在は独立し、ソーシャルデザインによる事業立案や補助金などの財源確保で地域の中小企業を支援。フォトグラファーとしても活動中。

アドバイザー

しまなみ地域ケア実験室



杉本 聡恵 エンプラス株式会社代表／感情環境デザイナー

20年以上の医療福祉に関する企画運営とリハビリテーションの現場を経験。心身が低迷する人の気力を高めるには、ケアの力と環境力の掛け合わせが不可欠だと痛感。本能に働きかける「感情環境デザイン」を軸に医療福祉施設のプランニングなどを手掛ける。

河東 梨香 tona LLC.代表／医療福祉ビジュアルディレクター

北欧など多数の国や文化の中で暮らした経験を活かし、医療福祉分野をはじめ、幅広い領域で色と素材感を大切にしたものづくり・空間づくりを実践。当事者やご家族、現場の想いにデザインでアプローチする「大切な誰かを思うデザイン」をテーマに活動を行っている。



簾藤 麻木 一級建築士事務所nenlin 代表

2008年早稲田大学大学院修士課程修了。同年、株式会社梓設計入社。老人ホーム、小学校、庁舎などの設計を担当したのち、2018年医療福祉施設の設計・プロジェクトマネジメントから福祉用具の企画・デザインまでを手がけるデザインリサーチ事務所nenlinを立ち上げる。2021年に「ケアのデザインストアねりん」を開設。ケアの現場の声と建築をつなぐ活動を続けている。

アドバイザー

しまなみ地域ケア実験室

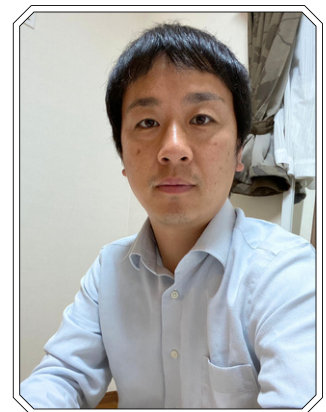


牧田 幸文 福山市立大学 都市経営学部教授

1966年京都府京都市生まれ。龍谷大学経済学研究科を修了後、スウェーデンやイギリスの大学で社会福祉政策、ジェンダーを研究する。2011年から福山市立大学都市経営学部の特任教員として働き、地域高齢者のその人らしい暮らしについて研究する。2016年から鞆町に移住し、念願の海が見える暮らしを満喫中。

小林 直哉 鞆の浦学園 教員

1988年、岡山県生まれ。2011年から尾道市、福山市で公立小学校の教諭として勤務している。2022年度から鞆の浦学園で勤務。学校医や福祉施設と共に子ども主体の地域診断授業を展開し、「鞆の浦体操」をつくる。地域と家庭、学校全体で子どもの学びと成長を支えていける社会の実現を目指している。
児童生徒が安心して学べる場を作れるよう奮闘中。



中村 直哉 尾道市消防局

広島県三原市出身。大阪芸術大学デザイン学科卒。2000年に消防士を拝命。救助隊長や指揮隊長等として現場活動に従事、事務職として本部運営にも携わる。全国の消防有志と共に特定非営利活動法人を立ち上げ、公安職や医療関係者を対象に、学会や教育コースを開催する。趣味は登山、サイクリング。